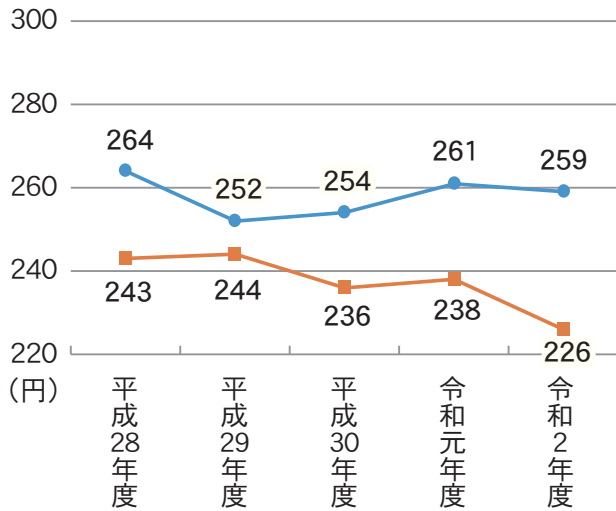


給水原価と供給単価の推移



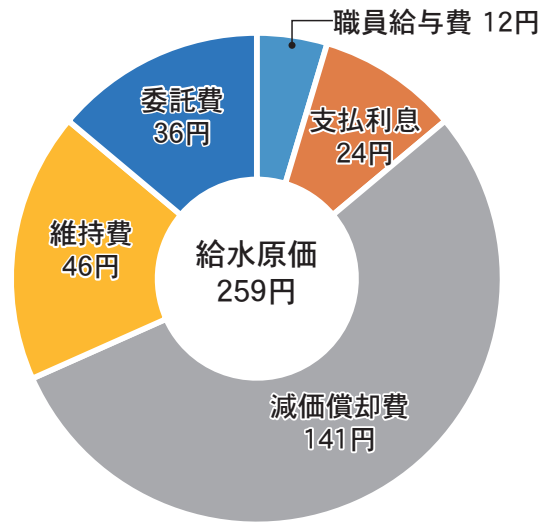
給水原価

水道水 1 m³あたりの製造単価。年間の水道水を供給するために要した薬剤費、動力費、施設の維持管理費などの費用を有収水量（供給水量）で割った値。

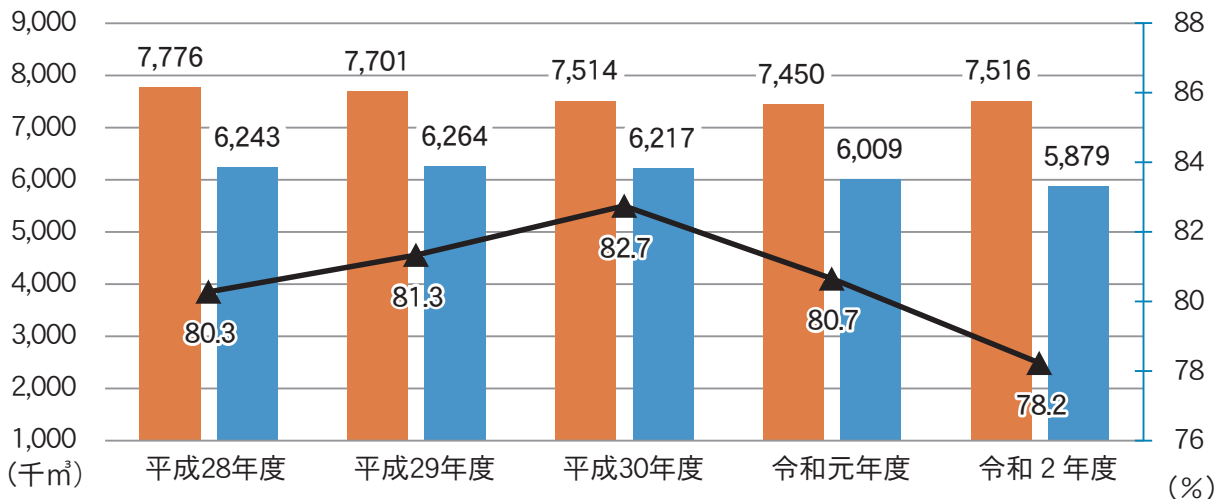
供給単価

水道水 1 m³あたりの販売単価。年間の水道料金収入を有収水量で割った値。
 (低下の理由) 平成30年度から継続して基本料金を一律に減免したことに加え、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による経済的負担軽減のため、3か月間基本料金を減額したことから大きく低下しました。

給水原価の内訳



配水量・有収水量・有収率の推移



配水量

配水施設から配った水量

有収水量

料金収入の対象となった水量

有収率

有収水量を配水量で割った値。100%に近いほど施設の稼働状況が収益につながっていることを表す

(低下の理由) 大規模な漏水がいくつも発生したことによって有収率が悪化したと考えられます。改善のため、有収率の悪い地域の調査を実施する予定です。

◆次回は、水道料金の改定に向けた検討経過についてお知らせします。